

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2010 年 5 月 5 日 15 : 33
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
明成高校	<table border="1"> <tr><td>40</td><td>1st</td><td>5</td></tr> <tr><td>24</td><td>2nd</td><td>25</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>25</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	40	1st	5	24	2nd	25	25	3rd	16	25	4th	25		OT		能代工高
40	1st	5															
24	2nd	25															
25	3rd	16															
25	4th	25															
	OT																
114		71															
○		●															

主審:Referee 片寄 達 宮城県
副審:Umpire 北沢 岳夫 岩手県
テーブル・オフィシャル:Table officials 能代北

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	須川 陽介	須川 陽介	0	0	0	0	0	4	/	熊坂 兼	熊坂 兼	0	0	0	0	0
5	/	市原 大臣	市原 大臣	-	-	-	-	0	5	/	西島 宏哉	西島 宏哉	6	0	3	0	2
6	×	杉本 健将	杉本 健将	27	4	7	1	4	6	×	笹木 皓太	笹木 皓太	28	6	2	6	2
7	/	蔦木 大智	蔦木 大智	5	0	2	1	2	7	/	秋葉 真司	秋葉 真司	0	0	0	0	0
8	/	門田 瑠唯	門田 瑠唯	2	0	1	0	2	8	×	志水 一希	志水 一希	2	0	1	0	3
9	/	岩田 裕介	岩田 裕介	10	2	2	0	1	9	/	中山 祐樹	中山 祐樹	7	0	3	1	0
10	×	安藤 誓哉	安藤 誓哉	30	6	5	2	0	10		熊谷 慎也	熊谷 慎也	-	-	-	-	0
11		中村 優斗	中村 優斗	-	-	-	-	0	11	×	田中 浩喜	田中 浩喜	8	2	1	0	1
12	/	森 知史	森 知史	4	0	2	0	0	12	×	溝坂 太成	溝坂 太成	0	0	0	0	0
13	/	伊藤 尚人	伊藤 尚人	0	0	0	0	0	13	/	伊藤 健太	伊藤 健太	0	0	0	0	3
14	×	木村 聡	木村 聡	13	0	5	3	0	14	/	金田 海郷	金田 海郷	0	0	0	0	1
15	×	松澤 大晃	松澤 大晃	15	0	7	1	3	15	×	中村 正也	中村 正也	0	0	0	0	0
16	×	藤井 祐希	藤井 祐希	8	0	4	0	1	16		三浦 基	三浦 基	-	-	-	-	0
17		和田 一斗	和田 一斗	-	-	-	-	0	17	/	野里 淳貴	野里 淳貴	6	0	2	2	2
18		川東 聖司	川東 聖司	-	-	-	-	0	18	/	土屋 真人	土屋 真人	14	2	3	2	1
コーチ		佐藤 久夫	佐藤 久夫						コーチ		佐藤 信長	佐藤 信長					
Aコーチ		藤岡 祐汰	藤岡 祐汰						Aコーチ		安保 敏明	安保 敏明					
合 計				114	12	35	8	13	合 計				71	10	15	11	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

序盤から明成のディフェンスの集中力は凄まじく、激しいマンツーマンディフェンスで能代工を圧倒、能代工はノーマークを作ることができず難しいシュートを強いられる。苦しむ能代工を尻目に明成は多彩なチームオフェンスで能代工のマンツーマンディフェンスを攻略、次々とゴール下にパスを通し#15松澤らがシュートを決める。開始5分で19-3となったところで能代工はたまたまタイムアウト、ディフェンスを2-1-2ゾーンに変えるが、明成の勢いは止まらない。#6杉本、#10安藤らが驚異的な成功率で3Pを決め、40-5と一方的な明成ペースのまま1Q終了。

2Q、明成のシュートが落ち始めると能代工は徐々に落ち着きを取り戻し、#6笹木、#18土屋が続けざまに3Pを決める。能代工は#13伊藤、#14金田ら途中出場のガード陣が豊富な運動量で流れを作ると、#5西島が連続してジャンプシュートを決め56-30と追いつける。点差を詰めて後半に望みをつなぎたい能代工だが、終了間際明成は#6杉本、#9岩田が立て続けに3Pを沈め、64-30と再び能代工を突き放して2Qを終える。

3Q、再びディフェンスのプレッシャーを強めた明成は4分間能代工を無得点に封じ、70-30と更にリードを広げる。能代工は#11田中の2本の3Pや#9中山のスピニングからのシュートで食い下がろうとするが、明成は#10安藤が3本の3Pを含む連続11得点と活躍、能代工に付け入る隙を与えない。89-46と明成が大量リードを奪って3Qが終了。

4Q、意地を見せたい能代工は前線から激しくボールを追い回すが、明成は落ち着いたパスワークでディフェンスの裏を突きロングパスからの速攻を連発、追撃を許さない。諦めない能代工はセンター#5西島をベンチに下げ、機動力のあるアウトサイドプレイヤー5人を起用、プレスが徐々に効果を発揮して明成にミスが増え始める。能代工#6笹木が連続11得点と奮闘するが、114-71と明成がリードを守ったまま試合終了。完勝した明成は昨年に続き準優勝となった。